

青山商事

横浜町田に物流センター開設

2業態のEC在庫を集

青山商事（本社・広島県福山市、青山理社長）はダイワコーポレーション（本社・東京都品川区、曾根和光社長）が神奈川県大和市に新設した物流施設（イメージ）のフロアの一部を賃借し、「ロジステイクスセンター横浜町田」として4日から本格稼働させた。10万着以上のスーツを格納可能で、2業態のEC在庫を集約し、物流業務を効率化する。

現在、青山商事ではネットとリアル融合型店舗である「デジタル・ラボ」の導入に加え、商品の「店舗試着予約」や「店舗取り置き」など、実店舗を活用した様々なECサービスを展開している。

今後こうしたデジタル戦略を一層強化していくには、十分なキャパシティとアクセス面での高い利便性を備えるECに特化した物流拠点が必要であると判断し、今回の物流センターの開設に至った。

「ロジステイクスセンター横浜町田」には主にEC在庫を保管。これまで「洋服の青山」と「ザ・スーツカンパニー」2業態のEC在庫を、それぞれ別の物流センターに保管し、EC受注した商品の補正、梱包、仕分け、出荷作業などの物流業務も業態別に行っていた。

これらの分散していたEC在庫をひとつの拠点に集約することで物流業務を効率化し、さら

なるサービス向上と事業拡大につなげていく。なお、「ザ・スーツカンパニー」業態のEC在庫の移管は来春以降を予定している。

